

高槻市定住促進へ躍起

人口減少に悩む高槻市は今年度、元フィギュアスケート選手で、タレントとしても活動する織田信成さんを定住促進のPR部長に任命。そのうえで、府内で人気のFM局「FM802」で市が提供するPR番組の放送を週1回、始めた。織田さんも月1回、出演する予定。人口35万人あまりの高槻市。これまで転入世帯への金銭補助などを続けてきたが、人口減少が止まらずイメージ戦略に乗り出した。

(中村雅和)

PR部長に地元出身の織田信成さん

「FM802」で週1回市提供の番組

高槻市は府内では豊中市、枚方市、東大阪市とともに中核市に指定され、中心的な都市の一つ。しかし近年、人口減少が進んだ。平成18年度末には約35万9千人だったが、26年度末には約35万5千人にまで落ちた。一方、同じ北摂地域にあり、大阪市に隣接する豊中市はここ10年人口が約1万人増加した。

都心回帰の流れが強まる中、「『より大阪市に近い所に住みたい』として転出していくケースが少なくなる」（高槻市の担当者）という事情が背景にある。転出数から転入数を引いた高槻市の社会



定住促進のPRに期待がかかる織田信成さん

人口減少止まらずイメージ戦略

減は、平成23年度には近年で最大となる千人を超えた。こうしたことから、市は24年度から、転入世帯などに金銭補助を拡充するなどの施策を展開、3年間で社会減を半分以下にまで圧縮することに成功したものの増加には転じなかった。

そこで市は今年度、現役引退後も高い人気の織田さんに着目して声をかけ、「どっちもたかつき定住促進PR部長」に任命。各イベントで活躍してもらおう。今月3日には、FM802で市が提供する番組「どっちもたかつきC RACK A SMILE」がスタートした。

毎週木曜の午前11時15分から30分間放送され、新人パーソナリティーが高槻市内で実際に暮らし、体感した市の魅力を発信。織田さんも月1回出演を予定している。

市の担当者は「定住促進策のターゲットにあたる20〜40歳代と、FM局のリスナー層は合致する。市のイメージアップにつながれば」と話している。

